

きしゅう会計
これだけ

かわら版

2022
March
03

人類が戦争する理由
ドローンレンタルで節税



税理士法人きしゅう会計

〒644-0002 和歌山県御坊市園208-4 TEL:0738-22-0463



事務所HP

www.kishu-kaikei.com



事務所通信

www.kishu-kaikei.com/page_003.html



コロナの次は緊張のウクライナ。世界レベルの渦中が日常の毎日。第2次世界大戦後、日本では戦後と言われていますが、それはたまた

た日本で戦争が起こってないだけで、世界レベルでは戦後じゃないですね。しかもコロナもまだまだ健在。なかなか落ち着かない状態が続いています。確定申告も今年は原則3月15日締め切りなので、間に合わせるつもりでしたが、諸般の事情からあと数件残っています。これが終わると次は待ってもらっている事業復活支援金の事前確認、申請を始めようと思っています。それと事業再構築補助金4回めの採択結果、3つの内2つが採択、1つが落選のため5次募集で通るようにカスタマイズ中。それと相続5件仕掛中。税理士って確定申告時期だけが忙しい訳ではないんです（こんな年は珍しいのですが笑）。以前岡田斗司夫さんのユーチューブを紹介させて頂きましたが、 ウクライナ情勢を考えるために今回も岡田さんの「**人類が戦争をする理由**」の動画を紹介させて頂きます。古代の農耕時代、死因の15%が戦争でした。農耕が始まると土地を守るために争い、戦争が起こるようになったという。しかし20世紀に入ると世界で戦争や暴力で亡くなる人は死因の5%になった。21世紀にはこれが1%となった。今では自殺した人の方が多い。つまり砂糖の方が戦争より多くの人を殺している。戦争が減っている理由の一つが核兵器による抑止力（核を使うと世界が滅びるので誰も使わないように戦争をしない）といい、もう一つは世界経済の基盤がモノから知識へシフトしたからだという。例えばアメリカのシリコンバレーを他国が制圧しても経済の基盤を奪うことはできない。なので資源（モノ）が重要視されている中東などの地域では戦争が残るのだという。詳しくは動画をご覧ください。あと地理的要因もあるでしょう、目に見えるモノよりも優先順位は低いかもしれませんがやはり日本も対岸の火事ではないですね。



「投資と節約」



高所得者の確定申告書を作っていると最近の税法改正のキツさを感じます。所得が1000万超、配偶者控除38万円⇒ゼロ
所得2500万円超、基礎控除48万円⇒ゼロ

所得3000万円超、住宅ローン控除適用除外！
うちのクライアントでこのパンチアウトの方がおられたので、経営セーフティー共済をお勧めしました。これは個人の保険では珍しく、全額経費になるもので、月最大20万円、年間240万円掛けられます（累積800万円まで）。実行税率50%の高所得者なら年間で所得税住民税120万円以上、また経費になるから事業税も減少できるのでお得。ただし、小規模企業共済のように戻す時に退職所得控除が使えないので節税しようと思えば、将来所得が下がるまで待つ必要があります（なので個人で使っている人は多くありません）。これは国が用意してくれた節税商品（課税の繰延）ですが、もっと大胆な課税の繰延商品があります。今から紹介する節税商品は色々な業者（中には詐欺商品も）が供給していますので注意が必要です。それは令和4年の税制大綱に取り上げられた少額な資産



（足場・ドローン）のレンタル節税規制で上げられている商品。規制？それじゃ使えないのではと思われるかも知れませんが、

法改正に時間が掛かるようでまだ駆け込みで使えます。この商品の建て付けは次の通りです。10万円以下の少額資産を大量に購入して一気に費用計上して利益を圧縮、その資産をレンタルさせて資金を数年に分けて回収する手法（この一連の仕組みが商品化されている）。ちっちゃなレバレッジドリースのようなものです。最近ユーチューブで税理士が動画を出していたので法規制掛かるかなと思っていたら今回の税制大綱に載った訳です。節税って流行ると法規制を掛けてきますから。ユーチューブの浸透で「ここの話商品」の寿命が短くなったようです。実際に利用したクライアント、業者もあります。興味のある方は直接連絡くださいね。

これだけかわら版の他の話は
こちらのQRコードから！

よもやまかわら版ブログ

<https://plaza.rakuten.co.jp/nakuken>

